

横浜中央YMCA/横浜北YMCA/湘南とつかYMCA/YMCA山手台センター/金沢八景YMCA/YMCA ACT/藤沢YMCA/横須賀YMCA/川崎YMCA/鎌倉YMCA/厚木YMCA/大和YMCAライフサポートセンター/YMCAライフサポートセンター-関内YMCAライフサポートセンター-鶴見/鶴見中央YMCA/YMCAとつか保育園/YMCAとつか乳児保育園/YMCAあつぎ保育園ホサナ/YMCAマナ保育園/YMCA山手台保育園アルク/YMCAかわさき保育園/YMCAつるみ保育園/YMCAいずみ保育園/YMCA東とつか保育園/YMCA東かながわ保育園/YMCAたかつ保育園/金沢八景YMCA保育園/YMCAオベリン保育園/YMCA東とつかセンター/YMCAワークサポートセンター/富士山YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジ



△東日本大震災かながわ追悼の夕べにて参加者全員で黙祷をささげた
(3・11東日本大震災かながわ追悼の夕べ実行委員会主催/横浜YMCA賛同団体/於大通公園)



▲ 阪神大震災、東日本大震災、熊本地震の支援活動を振り返り講演を行う大江浩氏(東日本大震災から6年目のついで)

共に歩む新たな決意 復興支援これからも

3.11をわすれない…つながる 思いを共に…

横浜YMCAでは、東日本大震災復興支援活動を継続して展開しています。大震災発生の3月11日前後には、「東日本大震災から6年 3.11をわすれない…つながる」をテーマに各YMCAにて、講演会や街頭募金、バザー、物産展、つどいなどが開催され、多くの方とともに、今後の支援活動などについて考え、復興への思いを共にしました。

横浜YMCAでは、東日本大震災を忘れずに支援を継続していきこうと、「3・11をわすれない…つながる」取り組みが各YMCAで行われた。このうち、YMCAオベリン保育園では、3月10日に園児や保育士、スタッフが東日本大震災復興支援のための募金を淵野辺駅周辺にて呼びかけた。YMCAつるみ保育園では、同日に近隣の教会などと協働して園周辺にて街頭募金を行った。また、横浜市踊場地区センター(横浜YMCA指定管理)では、3月4日

に仙台山連による「すずめ踊り」の演舞と東北物産展を開催し、来場した130人の方々と復興への思いを共にした。(その他の取り組みは下段をご参照ください)

3月11日には、横浜中央YMCAにて「東日本大震災から6年目のつどい」を開催した。このつどいは、大震災を忘れることのないよう皆で集うと今年初めて行われた。第一部では、これまで支援活動に関わったスタッフ5人によるリレーメッセージ(詳細3面)、次に阪神大震災、東日本大震災、熊本地震の支援活動にさまざまな立場で関わった大江浩氏(日本YMCA同盟)が、これまでの活動を振り返り「微力でも無力でない」と支援のつながりから生まれるものもあると語った。震災発生時刻と同時の午後2時46分には参加者全員で黙祷をささげ、その後、合唱曲「BELIEVE/ピリブ」を歌った。

復興への思いに描き「揚がれ希望の風」を実施しました。参加した子どもたちや保護者は、東北において避難生活を送っている方や神奈川県内などに避難している方への思い、それぞれがその思いを絵や言葉にして風書きに入れました。最初は風揚げに慣れていなかった子どもたちも、コツをつかむと、風は高く舞い上がり、東北や避難している方々の心を結ぶ希望の風を揚げることができました。鎌倉YMCAでは、鎌倉駅にて街頭募金を行い、復興支援のための募金を呼びかけました。

東日本大震災から6年「3.11をわすれない…つながる」各YMCAの取り組み

大震災の教訓から学ぶ 研修や家族防災キャンプ ～避難所運営や防災マップ作り～

横浜市生麦地域ケアプラザ(横浜YMCA指定管理)で3月5日に、横浜中央YMCAやYMCAつるみ保育園、鶴見中央地域ケアプラザなどのスタッフが鶴見区社会福祉協議会須藤智美氏を講師に迎え、避難所開設シミュレーションHUG(hinanzounei game/静岡県・社会福祉協議会開発)の研修を行いました。災害時避難施設や特別避難所の施設として災害時の要援護者への配慮に基づく部屋割りや仮設トイレの配置などを学びました。また、YMCA三浦ふれあいの村では、「家族防災キャンプ」が行われ、防災マップづくりや避難所運営の話や、家族で防災意識を高めました。



さんま祭り・バザー 物産展など思いを共に ～舞岡地区センター、大和・川崎～

横浜市舞岡地区センター(横浜YMCA指定管理)では、3月4日に「さんま祭り」を開催し、ミニ物産展、せんべい汁販売、防災食試食コーナー、編み物で紡ぐ支援の輪などが行われました。さんま焼きは横浜南部市場の有志の方で組織された愛と勇気とさんま実行委員会のサポートにより250尾を提供でき、来場した地域の350人とともに東北への思いを共にしました。大和YMCAや川崎YMCAなどでは、復興支援バザーが行われました。大和YMCAでは、大和市のイベントキャラクター葉っぱの妖精やマトンも登場し会場を盛り上げました。



復興への思いに描き 「揚がれ希望の風」 ～鎌倉・三浦ふれあいの村～

空から東北に「3.11をわすれない…つながる」思いを送ろうと3月11日に、YMCA三浦ふれあいの村、鎌倉YMCAでは、「揚がれ希望の風」を実施しました。参加した子どもたちや保護者は、東北において避難生活を送っている方や神奈川県内などに避難している方への思い、それぞれがその思いを絵や言葉にして風書きに入れました。最初は風揚げに慣れていなかった子どもたちも、コツをつかむと、風は高く舞い上がり、東北や避難している方々の心を結ぶ希望の風を揚げることができました。鎌倉YMCAでは、鎌倉駅にて街頭募金を行い、復興支援のための募金を呼びかけました。



電力自給生活学ぶ講演会 音楽通して思い届ける ～ACT・横須賀～

3月11日、YMCA ACTでは、「おひさまの力で電気代0円!?サトウチカさんに学ぶ『オフグリッド』な暮らし」に子育て世代など約20人が参加しました。東日本大震災による福島原発事故をきっかけに横浜市戸塚区において電力完全自給(オフグリッド)生活を送っているサトウさんから震災をきっかけに私たちに未来をつくるヒントを学びました。東日本大震災の犠牲者への追悼と復興への思いを寄せようと、横須賀YMCAでは、3月12日に富山姫路子さんのフルートによる「東日本復興ミニチャリティコンサート」を開催し、復興への思いを共にしました。



仙台山連と保育園児 「すずめ踊り」を披露 ～とつか チャリティーイベント～

3月5日に湘南とつかYMCAでは、「チャリティーイベントHeart to Heart」を開催しました。午前部では、戸塚駅東口ベデストリアンデッキにて仙台山連とYMCA保育園5園(いずみ、マナ、とつか、アルク、東とつか)の園児たちが「すずめ踊り」を披露しました。専門学校学生や学童クラブの子どもたち、ユースリーダー70人は、戸塚駅周辺などの3カ所において募金を呼びかけ10万8千円の支援が集まりました。午後部では、戸塚区にゆかりのある音楽家たちによるクラシックのチャリティーコンサートが行われ、地域のチャリティーと会員など83人と復興への思いを共にしました。



ホドス

「フボニコウニ、ケイテイニユウニ、フウファイウシ、ホウユウアイシンジ、キョウケンオノレラジシ」小学校低学年で暗唱させられた教育勅語の一部である▼勅語とは臣下である日本国民に賜る天皇のお言葉だが、現在の陛下は出されたことあるかな?現在は「お言葉」と言うようになった。教育勅語では明治天皇が日本人の教育方針を明確に提示し、第二次世界大戦前の日本の教育の根幹であった▼「安倍晋三記念小学校」設立を意図していた学校法人経営の幼稚園では園児に教育勅語暗唱をさせていると報じられた。幼児が意味も分からず暗唱することに教育効果があるのか知らないが、思い返すこともなかった文句を、70年の空白を経て口に出せたことに自ら驚いている。もつとも意味を理解していた訳ではない。「キョウケンオノレラジシ」のように「狂犬が俺をどうかした」とか意味不可解のまま過ぎた箇所もある▼内容には父母、兄弟、夫婦、友人を愛し和すことを教える等ほとんどの宗教、道徳律と変わらない箇所が多い。教育勅語も良いことも言っているとの意見もある。しかし、その背景となる思想が多く他の国民に未曾有の災厄を及ぼしたことを忘れてはなるまい▼ましてや近隣国民、民族を正当な理由なく誹謗中傷することを幼児に教えることは勅語の精神にも反するのではないかと▼教育勅語の「博愛衆二及ボシ」の衆とは日本のみならず、世界中の人びとではないのか。(美)



横浜 祝福受け社 祝に集立つ

3月に横浜YMCAの保育園、高等学院で卒園式や卒業式が行われたが、YMCAの4つの専門学校(横浜YMCA学院専門学校、横浜YMCA健康福祉専門学校、横浜YMCAスポーツ専門学校、YMCA福祉専門学校)の合同卒業式が3月17日に県立音楽堂(横浜西区)にて行われた。式の中で、日本キリスト教団川崎戸手教会孫裕久牧師が「人の良いところに目を向けてYMCAの卒業生



らしく歩んでほしい」とメッセージを贈った。引き続き、卒業生一人ひとりの名前が読み上げられ、各校校長から卒業証書が授与された。卒業生を代表して横浜YMCA学院専門学校の山本侑生さんがこれまでの学生生活を振り返り感謝のあいさつを行った。最後に全員で「キララクター・デイ・プロブレント」の歌を合唱し、それぞれの思いを胸に社会へ的一步を踏み出した。

子どもの健やかな成長願い 家族や地域と健康づくり

4月からヘルシーキッズキャンペーン開催

横浜YMCAでは、家族と一緒に子どもたちの健康を考える機会として「YMCAヘルシーキッズキャンペーン」を4月29日(土・祝)から5月31日(水)までの約1カ月



▲かけっこの腕ふりを練習した昨年のヘルシーキッズキャンペーン(YMCA山手台センター)

間に県内にある横浜中央、横浜北、湘南とつか、藤沢、横須賀、川崎、厚木、山手台、金沢八景の9つのYMCAを中心に体験会や講習会を開催する。文部科学省の2015年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によると、50メートル走や反復横跳びなど8種目の測定結果からは、過去の調査と比べほとんどの年代で運動能力の向上傾向がみられた。学習指導要領の改訂により、体育の授業が増えたことなどが要因とみている。

横浜YMCAのヘルシーキッズキャンペーンでは、子どもたちのすこやかな心と体の成長を願い、「よく食べ、よく動き、よく眠る」＝調和の取れた食事、適切な運動、十分な休養と睡眠という3原則をふまえた生活習慣を身につけることを中心とした取り組みが行われる。リズムやバランス、反応などの能力を活用し、その時の状況や五感で察知したものを頭で判断し、具体的に筋肉を動かすといった一連の過程をスムーズにすることを

目的とした「YMCAキッズコーデイナーション」が行われる。横浜北YMCAではかけっこが早くなるコツや練習法を伝える「かけっこチャレンジ」や幼児、小学生を対象に水に慣れようと「初めて水泳」が行われる。藤沢YMCAでは、「縄跳び講座」「逆上がり講座」、YMCA山手台センターでは

133 YEARS OF HISTORY

豊かな出会いと成長の場の働き担う 金沢八景YMCA・金沢八景YMCA保育園

1986年に金沢八景駅から徒歩2分の駅前に開設された金沢八景ステーションは、23年にわたり活動を展開してきましたが、2010年に横浜市による金沢八景駅前周辺の土地区画整理事業に伴い、現在の金沢区瀬戸23丁目に移転しました。新会館の建設と同時に、金沢区でも待機児童が増加していたことから新施設の移転とあわせて、認可保育園「金沢八景YMCA保育園」を開園することになり、地域の人びとの豊かな出会いと成長の場を目指して開設されました。

現在は、子育てプログラムとして、園庭の開放やおやこ体操、おやこ英語の取り組み、東日本大震災支援に取り組んでいます。運営委員会や金沢八景ワイズメンズクラブと協働したプログラムも盛んに行われています。

今後も地域のニーズに対応し、子どもから高齢者がいきいきと過ごすことができるよう取り組みを展開していきます。



▲開設から30年の歩みに感謝し共に祝った金沢八景YMCAにつながる皆さん(2016年)

今月の「平和の川柳」

春が来た スミレがきれい 春が来た スミレがきれい 春が来た スミレがきれい

鎌倉YMCA学童クラブ むねすえ まうれさん

日本語スピーチコンテスト 互いの文化学び交流深める



▲コンテストではこれまでの学びの成果が発揮された

横浜YMCA健康福祉専門学校の日本語学科では、中国、ベトナム、台湾、韓国、フィリ

ピン、タイ、インドネシアなど22の国や地域から150名を超える留学生が学んでいる。2月24日には、横浜YMCA学院専門学校

が「第4回日本語スピーチコンテスト」(横浜ワイズメンズクラブ共催)を横浜中央YMCAにて開催し、東京YMCAにほんご学院、YMCA学院、YMCA東京日本語学校、YMCA健康福祉専門学校を招待参加者を

「親子で体操」とび箱練習」苦手な種目を重点的に練習する「苦手種目練習会」などが行われ、苦手意識や運動がらいをなくそうと展開される。また、食育や栄養の視点からも健康を考えていこうと、ニュートリション運動推進会議子ども健康づくり委員会やおうちCO-OP、スマー

隣の小学校や幼稚園、保育園では、体力の向上を目指すプログラムの紹介やYMCAの保育園では、親子、保育士へ

の体と心のリラクゼーション、学童クラブではキッズコーデイナーションが行われ、運動習慣を身につけていく。

♪子育てランド♪ やさいだいすき

春の日差しが心地よくなりました。春夏秋冬、季節の移り変わりがある日本では、よく『季節の変わり目』という言葉が聞かれます。この季節の変わり目の時期になると、疲れがたまりやすくなったり、風邪や病気になりやすいという人も多いようです。

そんな時、ビタミン豊富な野菜を子どもに食べさせようと思っても「野菜を食べてくれない…」というのが多くのママとパパの悩みです。野菜を小さく切って、料理に混ぜて分からないようにするのも方法のひとつですが、子どもた

ちは野菜を触ってみることで料理のお手伝いをするので、今まで食べなかった野菜を「少し食べてみようかな」と興味をもつようになります。乳児は野菜に触れる、野菜ちぎり等、幼児はピーラーを使って野菜の皮むき、包丁で野菜を切る等お手伝いの方法はたくさんあります。

子どもにとって野菜を食べることが良い思い出となって、たくさん食べて、元気に過ごしてもらえたら良いですね。

(YMCAたかつ保育園 栄養士 平野愛美)

大和音楽楽しむ



障がいのある人もない人も共に音楽を楽しもうと「第10回輪和Waconサート」が、2月25日に大和市保健福祉センターにて開催された。2007年から大和YMCA運営委員会の発案により、輪和Wacon

ンサート実行委員会（金井之広実行委員長）の主催で行われ、障がいのある子どもたちやその保護者をはじめ約250人の市民が楽しんだ。コンサートでは、西口則子さん（ソプラノ）らが演奏を披露したほか、会場の有志の子どもたちが奏でるトーンチャイムに合わせ会場の方々が手話で「手のひらを太陽に」を歌った。

今後の支援を共に考えた「つどい」 星の子弦楽団の音楽と思い届ける

東日本大震災6年目のつどいを80人とともに



▲福島県の子どもの健康を守る運動指導の報告を行う関野スタッフ

3月11日の「東日本大震災から6年目のつどい」では、支援活動に関わった5人のスタッフからメッセージがあった。関野貴文スタッフ（横浜中央YMCAウエルネス）は、福島県の子どもの健康を守るための運動指導の報告を行った。「今後も子どもたちの笑顔

を増やしていきたい」と語った。このほか、震災直後に盛岡YMCA宮古ボランティアセンターで活動した青木信哉スタッフ（YMCA三浦ふれあいの村）、震災直後から支援活動に5回訪れている佐藤泰乃スタッフ（金沢八景YMCA学童クラブ）、園児全員を避難させた宮城県栗原保育園佐竹悦子園長の話を聞いた平山晴菜スタッフ（東とつか保育園、福島県の児童養護施設の青少年への支援に取り組む尾原萌子スタッフ（横浜北YMCAオランダタイプ）が報告と支援活動の継続の必要性を語った。

第2部では、星の子弦楽団（指揮・星重昭氏）が都山流尺

を聞きながら、一度宙に舞い上がると10キロも飛ぶそう。まるで命の旅のようだが、どの地に落ちても根を強く深く育つようになっていて踏まれても育つのだという。

八神奈川県支部の有志と復興祈念音楽小会を行った。楽団は震災直後から支援のための

青少年国際交流を夏休みに カナダで豊かな出会いと学びを

横浜YMCAでは、夏休みに海外において異文化に触れ、さまざまな人と出会い、豊かな体験をしてほしいと青少年を対象とした国際交流プログラムを実施している。今年「バンクーバー・グローバルキャンプ」がカナディアンライフィングストーンが実施されることになり参加者を募集している。

ホテル横浜ガーデンにおいて祝賀会が行われた。当時、横浜YMCAではアメリカのYMCAから紹介されたバレーボールやバスケットボール、横浜YMCAの廣田兼敏体育主事が日本で広めたバドミントンなどのスポーツが行われていた中、同じく青少年の育成を目的として、空手クラスが開設された。祝賀会では、横浜YMCA田口努総主事が祝辞を述べ、半世紀にわたる空手を通じた青少年教育に感謝し、和道流山下会横浜YMCA空手部山

バンクーバーYMCAの協力で実施されるグローバルキャンプは、各国から集まる仲間とともに大自然の中で約2週間のキャンプを行う。キャンプ場には日本人引率者が常駐しているため、初心者でも安心してキャンプ生活を送ることができる。カナディアンライフィングストーンYMCAYMCの協力で、バンクーバー、キャンプ場や大学の寮において宿泊、選択制でキャンプのほか短期での語学留学やポットツアー、文化体験などを行う。どちらももキャンプ中のコミュニケーションは英語を使うため英語力を養うことができる。キャンプ説明会は4月から6月10日までの土曜日に行われている（5月6日を除く）。お問い合わせは各英語学校へ。キャンプの詳細は4面をご参照ください。



▲山下会長に感謝状を手渡す田口総主事

いつだったか
きみたちが
空をとんで行くのを見たよ
風に吹かれて
ただ一つのものを持って
旅する姿が
うれしくてならなかったよ
人間だってどうしても
必要なものはただ一つ
私も余分なものを捨てれば
空がとべるような気がしたよ
（詩 星野富弘）

一年かけて育ったタンポポの花が咲いているのは、わずか7日から10日ぐらいいだ。咲き終わりに、花をしばませて1カ月ぐらいいかけて綿毛を育て、ある日一気に「わたぼうし」が咲く。とても神秘的で美しい。
傘のような綿毛一本の柄の下に種を付けている。だいたい80本から200本ついているそうだ。飛ぶ距離は50メー

トルぐらいいから、一度宙に舞い上がると10キロも飛ぶそう。まるで命の旅のようだが、どの地に落ちても根を強く深く育つようになっていて踏まれても育つのだという。
4月は新しい学校や学びの場、職場に旅立つ姿を見かける。不安の中にも期待と希望が満ちている。それぞれの場において、しっかりと根付いてほしいものだ。
大人は多くの期待をかけるが「必要なものはたった一つ」。根が深く育つよう見守り、「それでいいんだよ」と水をあげるように励ましの声をかけ続けよう。自ら育ち、綿毛のように飛び立つ心を大切にしていこう。4月、私たちが余分なものを捨てて飛び立ちたい。

FLASH NEWS

横浜YMCAは、アジアの国と地域にあるYMCAと積極的な交流を行っているが、3月7日には、中国・上海YMCAの呉建榮総幹事、夏寒松理事、上海YWCAのMs.Wang Xiao Yan副総幹事が横浜YMCAを訪れ、横浜YMCA田口努総主事をはじめ、北田純一健康事業本部長、瀬谷智明高齢者事業本部長、生井知三横浜YMCA学院専門学校校長、平岡守日本語学科スタッフ、高村文子国際・地域事業チーフと高齢者事業や介護予防、日本語教育、スタッフ交流などについて協議を行った。



▲星の子弦楽団と都山流尺八神奈川県支部による音楽会

世界の国を知る講座「アフガニスタンってどんな国・子どもと女性の今」のテーマでイーグル・アフガン復興協会江藤セデカ理事長が3月18日に横浜中央YMCAにおいて講演を行った（神奈川ユニセフ協会主催、横浜YMCA共催）。講演会では、アフガニスタンの子どもの現状や命の尊さ、教育の大切さ、女性の働き方、平和の大切さなどを語った。

空手クラス
50周年祝う
横浜中央YMCAで1965年に始めた空手（和道流）が創立50周年を祝い3月5日に

▲山下会長に感謝状を手渡す田口総主事

ワイズコーナ **根を張った地域活動**
横浜とつかワイズメンズクラブ

童話絵本の点字図書館の創設を目指すUniLeaf(2008年「夢すくすく賞」受賞団体)ワークサポートセンターパン工房「アンジュ」への支援はクラブとして定着してきました。また、湘南とつかYMCAが3年前から始めたユースリーダーとの研修交流会にも手を差し伸べはじまりました。

クラブ例会では健康教育部スタッフの協力でコグニサイズを欠かさず実施して効果を上げているほか、クラブの会員はYMCAの会員事業委員に3名、湘南とつかYMCA運営委員にも3名（うち1名は運営委員長）が参画しています。これからは「YMCAとともに」が目標です。（横浜とつかワイズメンズクラブ会長 浦出昭吉）

- 横浜中央 Y M C A ☎ 045(662)3721
- 横浜北 Y M C A ☎ 045(433)4321
- 湘南とつか Y M C A ☎ 045(864)4768
- Y M C A 山手台センター ☎ 045(813)1022
- 金沢八景 Y M C A ☎ 045(782)3003
- Y M C A A C T ☎ 045(316)1881
- 川崎 Y M C A ☎ 044(932)2031
- 鎌倉 Y M C A ☎ 0467(24)7859
- 藤沢 Y M C A ☎ 0466(26)1150
- 横須賀 Y M C A ☎ 046(834)5811
- 厚木 Y M C A ☎ 046(223)1441
- 大和ライフサポートセンター ☎ 046(264)3192
- Y M C A ライフサポートセンター-横内 ☎ 045(680)6680
- Y M C A ライフサポートセンター-鶴見 ☎ 045(506)0131

I . N . F . O . R . M . A . T . I . O . N



YMCAの最新情報は
ホームページをご覧ください
<http://www.yokohamaymca.org>

- Y M C A とつか保育園 ☎ 045(870)3663
- Y M C A マナ保育園 ☎ 045(790)3588
- Y M C A かわさき保育園 ☎ 044(520)1825
- Y M C A つるみ保育園 ☎ 045(500)5030
- Y M C A 東とつか保育園 ☎ 045(820)5588
- Y M C A いずみ保育園 ☎ 045(800)3010
- Y M C A 東かながわ保育園 ☎ 045(440)3763
- Y M C A たつか保育園 ☎ 044(281)7833
- 金沢八景 Y M C A 保育園 ☎ 045(353)5130
- Y M C A オペリン保育園 ☎ 042(707)9974
- Y M C A 東とつかセンター ☎ 045(392)3747
- ワークサポートセンター ☎ 045(867)0090
- 鶴見中央 Y M C A ☎ 045(508)7800
- 富士山 Y M C A ☎ 0544(54)1151
- 本 部 事 務 局 ☎ 045(662)3721

レクチャー

■イングリッシュセミナー
日 時 4月21日(金) 午前10時～正午
会 場 鎌倉 Y M C A 201教室
テ ー マ 「The Philippine cuisine」
講 師 Anri Hamasakiさん
参加費 会員1,100円、一般1,400円
申込み 鎌倉 Y M C A ☎ 0467(24)7859
○食材、料理法、食文化などからフィリピンの食文化を学びます。

キリスト教理解

■バイブルカフェ
日 時 4月12日(水)午後6時30分～7時30分
会 場 川崎 Y M C A 21教室
講 師 青木 靖氏
(登戸エクレシアキリスト教会副牧師)
テ ー マ 「マルコによる福音書を読む」
参加費 無料
問合せ 川崎 Y M C A ☎ 044(932)2031

■聖書からの学び
日 時 4月13日(木) 午前10時30分～11時10分
会 場 湘南とつか Y M C A 2階教室
講 師 堀野浩嗣氏
(横浜戸塚バプテスト教会牧師)
テ ー マ 「イエス・キリストを知る」
参加費 無料
問合せ 湘南とつか Y M C A ☎ 045(864)4768

■聖書に聞く「聖書のイロハ」
日 時 4月21日(金) 午前11時～12時
会 場 横須賀 Y M C A
テ ー マ 「天地創造」
参加費 無料
問合せ 横須賀 Y M C A ☎ 046(834)5811

■聖書を読んでみよう会
日 時 4月24日(月) 午後6時30分～
会 場 横浜中央 Y M C A 6階教室
参加費 無料

問合せ 横浜中央 Y M C A ☎ 045(641)5785
○新約聖書ヨハネによる福音書について話し合いをしています。

イベント

■富士山 Y M C A ゴールデンウィークファミリーキャンプ
日 時 5月3日(水・祝)午後2時30集合～5日(金) 午後1時15分散散予定
会 場 富士山 Y M C A グローバル・エコ・ヴィレッジ (静岡県朝霧高原)
内 容 天体観察、クラフト、ダイヤモンド富士を見よう 他(一部選択)
参加費 大人(中学生以上)26,500円～、子ども(4歳～小学生)23,500円～(宿泊棟・キャビンにより異なります)
申込み 4月12日(水)までに富士山 Y M C A ☎ 0544(54)1151

〈夏の国際交流プログラム〉
■バンクーバー・グローバルキャンプ
期 間 7月28日(金)～8月12日(土)
行 先 カナダ・ブリティッシュコロンビア州バンクーバー Y M C A
対 象 小学4年生～17歳未満の高校2年生
内 容 世界中から集まる仲間とキャンプを体験。バンクーバー市内観光。
参加費 約450,000円程度
問合せ 横浜中央 Y M C A ☎ 045(641)5492

■カナディアンライフ in キングストン
期 間 7月28日(金)～8月12日(土)
行 先 カナダ・オンタリオ州キングストン Y M C A
対 象 ①8歳～14歳 ②14歳～16歳
内 容 ホームステイなどを通してカナダの文化を学びます。
参加費 約445,000円程度
問合せ 湘南とつか Y M C A ☎ 045(864)4768

カルチャー

〈なつかしい童謡や唱歌を歌います〉

■北 Y M C A うたごえひろば
日 時 4月11日(火) 午後12時40分～2時30分
対 象 一般(熟年世代の皆さん)
会 場 北 Y M C A 3階スタジオ
参加費 300円
申込み 北 Y M C A ☎ 045(433)4321

■湘南とつか Y M C A うたごえひろば
日 時 4月18日(火) 午後2時～4時
対 象 一般(熟年世代の皆さん)
会 場 湘南とつか Y M C A 1階ホール
参加費 300円
申込み 湘南とつか Y M C A ☎ 045(864)4768

■厚木 Y M C A うたごえひろば
日 時 4月25日(火) 午後2時～3時30分
対 象 一般(熟年世代の皆さん)
会 場 厚木 Y M C A
参加費 500円
申込み 厚木 Y M C A ☎ 046(222)8619

■藤沢 Y M C A うたごえひろば
日 時 4月21日(金) 午後1時15分～3時15分
対 象 一般(熟年世代の皆さん)
会 場 藤沢 Y M C A
参加費 300円(要予約)
申込み 藤沢 Y M C A ☎ 0466(26)1151

■生麦地域ケアプラザ うたごえひろば
日 時 4月19日(水) 午後1時30分～3時30分
対 象 一般(熟年世代の皆さん)
会 場 生麦地域ケアプラザ(横浜 Y M C A 運営委託) 2階多目的ホール
参加費 100円
申込み 生麦地域ケアプラザ ☎ 045(510)3411

子育て支援

■子育て応援ボランティア説明会
日 時 4月18日(火) 午後2時～3時
会 場 のんびりんこ研修室
対 象 子育て支援に関心のある方で説明会に参加できる方

問合せ 中区地域子育て支援拠点のんびりんこ ☎ 045(663)9715
○地域での子育てをお手伝いしていただける方を募集します。

学校説明会

■横浜 Y M C A 学院専門学校 作業療法科
日 時 4月22日(土) 午前10時～正午、28日(金) 午後6時～8時
内 容 学校説明会
申込み ☎ 045(641)5785

■Y M C A 健康福祉専門学校
日 時 4月8日(土) 午前9時30分～12時30分、午後2時～5時
内 容 学校説明会
申込み ☎ 046(223)1441

■横浜 Y M C A スポーツ専門学校
日 時 4月15日、22日(土) 午前9時30分～12時30分
内 容 学校体験(15日保育園体験、22日スポーツクラブ体験)
申込み ☎ 045(864)4990

■高等学院
日 時 4月22日(土) 午前10時～11時30分
内 容 学校説明会
申込み ☎ 0466(26)1150
※詳細は電話またはHPにて各校へお問い合わせください。

ボランティア情報

■ヘルシーキッスデー ボランティア
日 時 4月29日(祝・土)
内 容 各 Y M C A で行われるヘルシーキッスデーのイベント運営のボランティア
申込み 4月17日(月)までに各 Y M C A 健康教育部までお申込みください。連絡先は4面上をご参照ください。
○子どもの健康づくりのお手伝いをしてみませんか。詳細は、各 Y M C A 健康教育部へ



私はスリランカの出身で、3月に横浜 Y M C A 学院専門学校の日本語学科を卒業しました。スリランカの高校で1年くらい日本語を勉強してから日本に来ました。私の高校に日本から原田さんという方が来て「一人の学生に日本へ行って日本語を勉強するチャンスをおあげたい」と言いました。そのため特別な面接があり、私はそれに合格しました。2015年4月から始まった日本語の勉強は今年の3月まで2年間続きました。Y M C A の日本語学科のルールは厳しいですが、設備が良く、スタッフの方はいつも笑顔で対応してくれます。先生方は授業中厳しですが、教え方が上手で、よく理解できるようになり、勉強が面白くなりました。それで聴解力と会話力が伸びて日常生活で日本人とコミュニケーションができるようになりました。自分の言いたいことを日本語でうまく表現できるようになりました。いろいろな国の友だちと勉強することは楽しいです。今年の4月から開設される同じ横浜 Y M C A 学院専門学校の「国際情報ビジネス科」に進学し勉強を続けたいです。

今年4月からは、富士山 Y M C A でのボランティア活動の機会ができました。自然や友だちの大切さを知りました。また、自然の中でストレスを解消でき日本の子どもと仲間になることもできました。日本人と一緒に活動したので、日本のルールや文化や習慣も学ぶことができました。最後に今まで私が困った時やできなかった時に助けてくれた学校の先生方、友だち、私の両親に感謝したいと思います。

今年4月からは、富士山 Y M C A でのボランティア活動の機会ができました。自然や友だちの大切さを知りました。また、自然の中でストレスを解消でき日本の子どもと仲間になることもできました。日本人と一緒に活動したので、日本のルールや文化や習慣も学ぶことができました。最後に今まで私が困った時やできなかった時に助けてくれた学校の先生方、友だち、私の両親に感謝したいと思います。

MY Y STORY

87

日本語学科での学び活かし 新設国際情報ビジネス科へ

横浜 Y M C A 学院専門 日本語学科
Jayasinghe Samaradiwakara
Rajapakse Charana Sasanka
(通称チャラナ)



▲Y M C A 英語プログラムのボランティア活動を行うチャラナさん